

キャリアラボ

2023.3.3

工藤 任奈さん

ローポレイブ"ぶり返り"

シークリング 解答用紙 NO.7

受験者 氏名	けいりゃん
-----------	-------

受験者シールのバーコードシール
1枚をこの上に貼り付けてください。

所要時間 42分

【設問1】 事例記録の中の「相談の概要」【略A】の記載に相当する、相談者がこの面談で相談したいことは何か。事例記録を手掛かりに記述せよ。

夫曰、天から「海外赴任を可成りと言われた」と言われた。毎日同じ職場、仕事で疲れていて、
経理の仕事は楽しい、キャリアも大切にしたいと思っていた。今後の身の振り方に不安な相談に来た。

1行目：アから7:15、2行目：オから7:15

【設問2】 事例記録の【下線B】について、この事例を担当したキャリアコンサルタントがどのような意図で応答したと考えるかを記述せよ。

- ① 相談者の「どうしようか」という気持ちに寄り添い、傾聴したことで、悩みをラポール形成できた点
- ② 相談者に「くり返しになるか」と発言したこと等、話の展開が速く、相談目的を早期に達成できた点

【設問3】 あなたが考える相談者の問題(①)とその根拠(②)について、相談者の言動を通じて、具体的に記述せよ。

- ① 問題 主な問題は2つある。(1) 夫の外交官の仕事や「自身の仕事に対する理解不足がある点、(2) 人間関係で前職を退職したことがあり、上司等とのコミュニケーション不足がある。
- ② その根拠 (1) 「外交官は多くの国で交渉する仕事だ」という、「(国内のみで)海外に赴任するとは思ってはいなかった」「キャリアも大切にしたい」と等の発言から。(2) 「上司とあまりあやまらぬ」「上司とぶつかったことがある」「単純な仕事ばかりから疲れている」「仕事は楽しい」と等の発言から。

【設問4】 設問3で答えた内容を踏まえ、今後あなたがこのケースを担当するとしたら、どのような方針でキャリアコンサルティングを進めていくか記述せよ。

相談者の夫の海外赴任について「どうしようか」という気持ちに寄り添い、引き続きラポール形成を行う。そのうえで(1) 夫の外交官の仕事について改めてどのような仕事だと思えるかを語り、こちらでもjob tagなどでの情報提供を行う。仕事に対する理解を深めて頂く。また、自身の今後の経理の仕事についてフォローの相談も行う。大切にしたいキャリアについて内省を促す。(2) 可能であれば人間関係で前職の話を伺い、上司も含めた今後のコミュニケーションのあり方について改めて考えて頂く。20代の相談者が長期的視点で夫の海外赴任を意思決定できるように支援する。

注：解答用紙の裏面および行外に記述されたものは採点されません。